

商連ニュース

第6号

責任発行者
会長 木曾 則雄

発行者
総務委員会

第二回 ふれあいまつり

主催：亀岡商工会議所・亀岡市商店街連盟・亀岡食品衛生協会



第二回ふれあいまつり開催

昨年の市制五十周年記念事業第一回「ふれあいまつり」に続き、本年も亀岡商工会議所・亀岡市商店街連盟・亀岡食品衛生協会にて、実行委員会をつくり、平成十八年二月四日(土)五日(日)の二日間にわたり、第二回「ふれあいまつり」がガレリアで開催されました。

地域経済環境が依然として厳しいなか、亀岡地域経済の基盤を支えている中小企業が、活力を取り戻し、街のにぎわいと活性化を促進するため、更に市民との交流を深める目的で開催されました。

特産品展示即売、食品衛生、生活衛生の啓蒙、ステーションイベントなど盛大な内容で、二日間の来場者は八千三百名でした。

亀岡市商店街連盟「新春大売出し」実施

第二回「ふれあいまつり」に際し、商店街連盟としてどのように取り組むか、役員会、販促・事業委員会にて検討されました。

その結果、少しでも売り上げ増、販促につながる事業として「新春大売出し」を行い、「ふれあいまつり」に併せ二月五日に、「お客様謝恩大抽選会」を行うことが決定されました。

(一) 新春大売り出し期間

平成十八年一月二十日(金)～
一月三十一日(火) まで十二日間

(一) 売り出し協賛商店街

- ・馬堀駅前商店会
- ・馬堀西部商店会
- ・篠八幡商工繁栄会
- ・ハートフルアベニュープラッツ商人会
- ・亀岡駅前商店街振興組合
- ・亀岡安町商店街振興組合
- ・北町商店街
- ・内丸町繁栄会
- ・日商店街
- ・クニツテル商店街
- ・河原町繁栄会
- ・亀岡ショッピングセンター・アミティ
- ・西友名店街商店会
- ・大井町商業会
- ・千代川町繁栄会
- ・馬路町商業会
- ・保津町商店街
- ・本梅・畑野繁栄会
- ・マツモト千代川専門店会
- ・アルプラザ亀岡同友店会

(二十商店街)

(二) 協賛店数二百四十一店

(三) 各協賛店において、原則五百円以上お買い上げの方に抽選券で、その店でお使い頂く商品券・ガレリアでの抽選券が当たるスピードくじを実施しました。(二店百枚)

お客様謝恩大抽選会

二月五日(日)ガレリアにおいて、商店街連盟大抽選会が行われました。二百四十一店で抽選券は二万四千百枚配布されており、この内何枚抽選会で回収されるか役員会・販促・事業委員会が慎重に検討されました。

その結果回収は五十%を予測し、賞品、抽選器、玉などが準備されました。

(一) 抽選結果(抽選券一枚で一回抽選)

・ 抽選の出玉数 一万二千四百四十四個

・ 抽選券の回収率は四十七%

・ 役員・販促・事業委員会の予想的中率は九十四パーセントの高いものでした。

・ 抽選券一人平均五枚として計算すると、抽選会に二千二百八十八人お越しになったこととなります。

(二) 賞品は、特賞三万円旅行券、一等五千元、二等三千元を初め八千四十個準備しておりましたがほとんど出ました。

午前十時から始まった抽選会には早くから行列が出来、「何等が当たるか」期待の姿で、思わず「特賞」の鈴が鳴らされると大喜びの笑顔で、午後四時をもって大抽選会は終了しました。

新春大売出しアンケート結果報告

売出し協賛店の中からランダムに五十店に「新春大売出し」について、アンケートをお願いしました。

その結果の概要を報告します。

・ アンケート回収四十二店 回収率八十四%

(一) 売出し時期について

「新春」が一番多く三十二%、次が「年末」の二十一%、三番目が「秋」の十七%でした。

(二) 売出し期間について

「十二日間で良かった。」が六十七%で一番多く、もっと短くの他、もっと長くと言う意見の中には三十日位と言うのもありました。

(三) 協賛店一店当たり百枚の抽選券について

「丁度よかった。」が五十五%で、あとは「もっと少なく。」「もっと多く。」が半々でした。

(四) 大売出しによって、売り上げが上がり、売り出しの効果はありましたか。

「効果があった。」が十四%ありました。残念ながら「効果はなかった。」が八十四%でした。

(五) 「大売出し」によって、参加料分は回収できましたか。

「充分回収できた。」が二十四%、「回収出来なかった。」が六十九%でした。

* 売出しによって、参加料一万円分が回収できたかという意味の設問でしたが、設問がもうひとつ分かりにくかったようです。

(六) 抽選会の「空くじ」について

「空くじなしにすべきであった。」と「空くじも止むを得ない。」はどちらも五十%で、二つに分かれました。

(七) 三者共催について

「三者共催でよい。」が八十四%でした。

(八) 抽選会についての意見

(ア) 一回に抽選券数十枚を持って来て、かためて抽選するのはどうかと思う。

(イ) 一回で抽選できる回数は制限した方がよい

(ウ) 各商店においても、常識ある抽選券の発行をすべきである。

(エ) 抽選会当日アルプラザの二店さんが、マイクで、又、馬堀駅前商店街さんがプラスチックカードを持ち、お客様をうまく誘導されて大変よかった。

(九) 「売出し」についての意見

(ア) 集客出来るイベントを行う方が良いが、ガレリアは遠いのもっと地域密着型がよい。

今回は客寄せパンダにはなったが、出費の割には入るものが少なかった。

(イ) 参加しないと損をするような企画立案が望まれる。

(ウ) 売出しに協賛する商店街を多くすべきである。

(エ) 販促につながる売出しを考えてほしい。

(オ) 売り出しの場合、共同ののぼりがあれば嬉しい。

(カ) 今回の「ふれあいまつり」で、各個店の「こには結びつかなかった」と思いですが、催しとしては良かったと思います。
 などの意見が寄せられておりました。
 ※今回のアンケートを今後の運営に活かしていくことが大切と思います。お忙しい中をアンケートにご協力頂きましたお店に対し厚く御礼申し上げます。

抽選会特賞当選者旅行記

三宅町 阿佐美邦泰・都紀子

家内が市内美容院に行った時貰った抽選券を持ち、五日の商店街連盟の抽選会に行きました。私の前の方は抽選券五枚持つておられて当たったのはティッシュでした。私は一枚一回だけで見事に特賞が出ました。誠に幸運でした。今迄犬がいたのでなかなか旅行にも行けませんでしたが、犬を見送ったので、和倉へ行くか、下呂にしようか

などと話していましたが、二月二十五日から二十六日にかけて泊二日の旅行で鳥羽へ行ってきました。
 二十五日は雨でしたが、ホテルも良く、水族館も見学し、久しぶりの二人の楽しい熟年旅行でした。
 買物はほとんど市内のお店で買ってありますが、ご商売頑張つて頂いて又こんなイベントをして頂くと嬉しいです。
 ありがとうございます。



H商店街活性化事業

昨年九月からH商店街の活性化に向けての取り組みが行われその対策の概要がまとまりましたので、誌面にてご報告いたします。

(一) 商店街活性化モデル事業の経過

平成十六年四月に、商店街連盟、亀岡市役所商工観光課、亀岡商工会議所の三者懇談会が開催され、産業・商業振興など幅広く話し合いが行われました。その中から商店街活性化について、亀岡市で予算化され今回の商店街活性化モデル事業となりました。

二十七商店街にその取り組みについて、案内した中からH商店街が意思表示されアドバイザーの尼川恵一氏のH商店街視察、役員との懇談会を経てH商店街役員会で取り組みが正式決定されました。

(二) 目的

市内商店街の活性化のために、商店街が抱える課題を明確にして、商店街の組織力を再生し、亀岡市の地域経済の活性化を図ることを目的とする。

(三) 活性化委員会

H商店街役員、H商店街内の消費者委員(女性)、アドバイザー尼川恵一氏、市役所商工観光課、亀岡商工会議所、商店街連盟役員のメンバーなど十八名で構成。

(四) 現状調査アンケート実施

役員、会員、会員外、お客様、老人会、中高生対象の六種類のアンケートを四百七名に行い、その中から問題点、課題を明らかにし、それに対する活性化対策を検討しました。

(五) 活性化委員会活動

- ・ 活性化委員会 八回
 - ・ H商店街委員会 四回
 - ・ アドバイザー尼川氏による店舗視察 三回
 - ・ 事務局と役員会との打合わせ 五回
 - ・ 会議実時間数 五十三時間
 - 三月十五日(水) 十八時三十分から旅籠会議所において、H商店街会員を初め関係者多数出席のもとに半年間に及ぶH商店街活性化委員会手づくりの活性化対策報告会が盛大に行われました。
- 対策が一つ一つ着実に実行され、H商店街が繁栄し周辺に及んでいくことが期待されております。

アンケートの内容、問題点、課題対策など全てを記載できませんが、ご報告いたします。

〔六〕課題と対策

〔ア〕 お客様は新しい商品の提供や地元へのサービスの充実を望んでいるが「商店街としての機能とは何か。」

対策

- ① 商店街の大きな機能として、お客様を年中商店街に確保すること。
- ② 顧客に必要な生活用品を正直な価格で良質の商品を提供すること。
- ③ 地域のコミュニティづくりのお手伝いをする。
- ④ 将来を担う子供たちが安心、安全に生活し健やかに育つよう支援すること。

〔イ〕 H商店街は、店が散在しており、どこからどこまでがH商店街かわからない。又将来の望ましい商店街の姿も明確でない。街づくりに必要な中心(核)となるものがあるのか。等から「何を核として、H商店街の街並みを統一し、H商店街の将来像を明確にする。」ことが大きな課題である。

対策

- ① H商店街は、明智光秀の亀山城の城下町である。鍛山神社のお旅所としての形原神社の門前町である。亀岡祭りのお膝元の商店街である。これ等の位置づけから「歴史、地域資源、観光を活かしたH商店街づくり」を目指す。
- ② 核となるものには、歴史的財産形原神社、鉾、古世地藏等があるが、H商店街には十一基中八基の鉾がある。この鉾をいつでも見学できるようにし、更に形原神社に鉾会館の建設を推進する。一方、歴史的価値のある町家もまだ残っており、この維持存続も各方面へ働きかけて行く。
- ③ 更にH商店街の町並み統一の一つとして、昔使っていた「H商店街の看板」を復活し整備する。
- ④ お客様によく分るように、H商店街の各お店、歴史的財産(亀山城跡、神社、鉾倉、地藏、寺、親水公園等所在マップを作り、駅・観光案内所等に置き、お客様に分



り易く、又、観光客がH商店街を中心に回遊出来る仕掛けを推進する。

〔ウ〕

現状調査の中で、H商店街は道路幅が狭く、自動車通行量が多くかつスピードも速い、旅籠町横町の変形交差点(信号なし)は、非常に見通しが悪く危険である。その上その交差点から矢田口に至る道路は夕方の渋滞が特にひどい等の不満が多い。「交通問題」も大きな課題となった。

対策

府道亀岡園部線は昭和三十四年に都市計画道路になったが、四十七年間計画は進まず住民・商店街にとっても死活問題である。歩行者専用道として溝蓋の整備・時間的な交通規制等について、関係機関と協議し早急に詰めていく。

〔エ〕

商店街を活性化して行くために何が必要かと言う質問に対し、お客様・老人会の声として駐車場・駐輪場の設置、休憩所、トイレ、店舗案内板の設置、街路灯、防犯カメラの設置があった。

対策

- ① 駐車場・駐輪場
会員に対し再度実態調査を行った結果、各お店の九四%に駐車場がある。(総数百二十台分) 駐輪場は八七%にある。(総数百八十七台分) 但しお客様へ駐車場・駐輪場を案内する看板は少ないことが判明した。駐車場がお店から離れている時は、案内表示が絶対必要であり、集客に有効に働く。このため統一的な案内板を検討し設置を推進する。
- ② トイレ・店舗案内板の設置
H商店街内でトイレの設置は場所的に大変難しい。スーパー、コンビニ、病院等に頼らざる得ないが、各町の会議所のトイレを解放することも今後検討して行く。店舗案内板は設置は難しいのでマップを作る。
- ③ 街路灯・防犯カメラ設置
街路灯は、昨年十一月に五十六基更新し設置した。イルミネーション的なものを検討しH商店街の景観統一にも活かして行く。防犯カメラは今のところ必要ないと判断する。

〔オ〕

イベントの開催による集客についても希望意見があった。

対策

「H商店街の日」「独自のスタンプラリー的なカードの発行」等を開発研究して行く。更に新しいホームページを開発しH商店街を発信する。

亀岡祭り時「灯籠」が設置されたが、東山地区、嵐山での「花灯路」のような集客につながる時期を得た仕掛けを研究する。

(カ) 商店街の実態として、空き店舗もある。H商店街内の空き店舗実態調査(貸貸しの意向確認等)も必要である。

対策

近くで行われている農家組合の野菜朝市をH商店街内で開催できる方策を探ると同時に、商店街からも出品し販売方法も併せ検討する。

(キ) 三年前と比べ売り上げが二割から三割減少と言う回答も五十%を超えているが、その理由として、お客さんが大型店に流れていると言う回答が多い。

対策

H商店街の場合は、大型店と言うより中型店(スーパー等)であるが、大型店・中型店と広告費だけで比べても競争は出来ない。H商店街内の中型店は健在であり、その集客力を逆に利用する方策・又提携・協力出来る方策を考えて行く。

(ク) 商店街活動について

会則が、商店街活動に活かされているかと言う観点から見直す。お客様を増やし各個店が栄えることが一番重要であり、目的・目標を再確認する。商店街活動が会員にも見えるように工夫する。

(ケ) 個店経営について

実態調査から「経営者の経営力向上」「リピーター客の増加策」「顧客ニーズの把握方法」「顧客の新規拡大とニーズに適した店舗づくり」「経営者の高齢化(後継者問題)」「資金力の問題」が課題として上った。

対策

アドバイザーから「経営力の向上とは、経営体力を強化して質を高めること」「経営者は経営理念を持っていること、変わるのは戦略と戦術である。」「亀岡で一流店になること。」「店舗改装する時は建築士ではなく商業施設士の店づくりのプロに頼むこと。」「経営者の高齢化と商いの価値は全く別問題である。年配者には、長い経験に基づいた知恵があること、策を練る力を持っており先が読めること。」「等のアドバイスが行われた。H商店街では石田梅岩翁の「商道・人としてのあり方」を経営に活かして行くことも確認された。

今回の取り組みで、我が町を見直し、将来の街づくりの方向が定まった意義は大きく、今後各方面の理解・支援を得て対策が着実に進み活気ある個店・商店街になるよう期待されております。

店舗経営戦略相談を受けて

馬堀駅前 かつばや 山村 高生

商店街連盟の店舗経営戦略相談に申し込み、専門アドバイザーの先生に今後の経営アドバイスを頂きました。

現在、文具店を取り巻く環境は量販店・通販に加え百円均一ショップ等に押され長期低落傾向にあります。その中で少しでも売上げを回復するための相談をさせて頂きました。そして現在の消費者の考え方や行動、今後の社会変化等の中から有用なヒントをお聞きすることが出来ました。

これから増えてくる中高年代をターゲットにした「比較的高品質な専門性の高い文具を揃え、提案力をセットにして売り込んでいくこと」が重要との指導を頂きました。これをふまえ当店にしかない専門的な商品をより充実し、それをいかにPRしていくかを優先課題にして取り組みました。その結果、来店客数、売上げもわずかながら上を向いてきました。これからは教室やチラシ、インターネットの活用を含めてより専門的な商品、サービスの訴求を行いストアイメージの向上と確立を目指していきます。

今回の相談で今まで漠然と考えていたことをアドバイザーに体系的に教えていただくことが出来ました。これからの店舗経営にこれらを生かしお客様のお役に立つお店を目指してまいります。



亀岡市商店街連盟十一年間の主な事業

亀岡市商店街連盟が平成七年九月に発足し十一年間が経過しました。この間の主な事業を掲載しました。人口増加から人口減少・少子高齢化・グローバル化と大きく時代が変化します。お互いに商業振興・活性化・販促につながる積極的なアイデア・提案をお寄せください。

	総会	新年会	主な事業	その他
平成7年	○	○	・先進地視察（福野町・小矢部町）	
平成8年	○	○	・商連設立大売出し ・春祭り協賛商業まつり ・年末大売出し	商連ニュース1・2号
平成9年	○	○	・春祭り協賛 ・年末大売出し	・会員名簿発行
平成10年	○	○	・イベント事業13商店街出店 ・年末大売出し	・商連ニュース3号
平成11年	○	○	・お買物券発行 ・先進地視察（草津市）	
平成12年	○	○	・わくわくショッピングラリー	
平成13年	○	○	・商品券発行	・会員名簿発行 ・商連ニュース4号
平成14年	○	○		
平成15年	○	○	・亀岡商工会議所30周年協賛 ・店舗経営戦略相談事業（14店）	
平成16年	○	○	・先進地視察（なんばパークス・天神橋筋商店街） ・市制50周年記念事業第1回ふれあいまつり商連（だがしや楽校） ・店舗経営戦略相談事業（10店）	・会員名簿発行 ・商連ニュース5号
平成17年	○	○	・第2回ふれあいまつり商連「新春大売出し」「お客様謝恩大抽選会」 ・商店街活性化モデル事業（H商店街） ・店舗経営戦略相談事業（13店）	・商連ニュース6号

（※亀岡商工会議所との共催講演会がありますが、掲載省略）

平成十七年度亀岡市商店街連盟の主な行事

十七年 五月十三日 十七年度通常総会
 九月二十八日～十八年三月十五日 H商店街活性化モデル事業取り組み
 十二月十二日～十二月十九日 店舗経営戦略相談事業（十三店舗）
 十八年 一月十八日 新年懇談会
 一月二十日～一月三十一日 商連新春大売出し
 二月四日～五日 第二回ふれあいまつり
 二月五日 商連お客様謝恩大抽選会
 三月三十一日 商連ニュース第六号発行

亀岡市商店街連盟会員数 平成17年4月1日現在

	商店街名	合計数
1	馬堀駅前商店会	29
2	馬堀西部商店会	18
3	篠八幡商工繁栄会	26
4	ハートフルアベニューブラック商人会	11
5	亀岡駅前商店街振興組合	65
6	亀岡安町商店街振興組合	37
7	北街商店街	25
8	内丸町繁栄会	27
9	H商店街	32
10	クニッテル商店街	25
11	河原町繁栄会	32
12	余部町商栄会	25
13	ロードサイド共栄会	9
14	(協) 亀岡ショッピングセンター・アミティ	27
15	西友名店街商店会	7
16	大井町商栄会	63
17	千代川町繁栄会	39
18	馬路町商栄会	11
19	保津町商店街	12
20	曾我部町商工共栄会	32
21	吉川町商工会	8
22	藤田野商工会	18
23	本梅・畑野繁栄会	13
24	宮前町商工会	21
25	マツモト千代川店専門店会	6
26	亀岡サティ協友店会	13
27	アルプラザ亀岡同友店会	25
	計	656

編集後記

商店街連盟の一年間の事業の総まとめとしての「商連ニュース」は意義あるものです。第六号をお届けいたします。

編集委員（総務委員会 担当 副会長大西政弘）

横山由数 永田博 岩本勝巳
 松本富雄 米丸修生